

## 厚真町フットケアボランティア

北海道胆振東部地震から約1年が経過しました。

今年も9/22(日)に厚真町へフットケアボランティアに行っていました。今回もフットケアボランティア活動に賛同してくれたメンバー2名と私の合計3名で厚真町へ向かいました。

この度は仮設住宅に隣接する「談話棟」での実施となりました。1名ずつ3か所の仮設住宅に分かれてケアを実施致しました。事前にご案内していたこともあり、自ら談話棟に足を運んでくださる方もいましたが、ご自分で移動が難しい方については訪問で対応させていただきました。公共交通機関での移動も不便な地域であり、足に関する相談やトラブル回避の方法・日常のケアに関して情報を得る機会も少ない状況です。

今回のボランティア活動で、ご本人からは見えていない部分(足趾～足底部)の皮膚トラブルが見つかり皮膚科受診を勧めたケースや正しい靴の履き方で帰り道の歩行が安定したケースも見受けられました。被災地の方々が住み慣れた厚真町で「ご自分の足で歩き続ける」ために私たちができることは何かを考え・行動していく必要があると感じました。足を運んで下さった方々との会話で私たちが癒され、元気をもらうことができた時間でした。

厚真町内には、黄金に色づいた稲が実っていました。その稲からほんの少し視線を上に向けると崩れた山が目に入ります。北海道胆振東部地震から、まだ1年です。自分たちにできるサポートを微力ながら今後も継続していきたいと思えます。

ご協力いただきました厚真町災害ボランティアセンターの方々に深く感謝いたします。

2019年10月12日

菅野 智美

